

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		スクールバス購入事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	教育委員会教育部	課長名 中島 正剛						
	施策	4	公共交通の充実		所属課	学校教育課	担当者名 古荘 一也						
	基本事業	11	公共交通の利便性の向上		所属班	総務施設班	(内線) 2222						
予算科目					会計 1	款 10	項 1	目 2	事業連番 11370	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-
事業期間					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 20 ~ 21 年度)	コスト削減優先度評価結果	-			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】 遠隔地児童(合志小学校区の一部)の登下校での送迎、及び学校関係行事での市内児童生徒の移送のために使用する耐用年数を経過し老朽化したスクールバスを更新する事業である。													
【業務の流れ】 バス更新方法の比較検討、予算計上事務、バス購入及び既存バス処分資料収集事務、発注事務、納車までの施行監理、バス納車													
【主な予算費目】 備品購入費													

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 線越報告事務(19,000千円) 納車までの施行監理(スクールバス用への改造、外装処理状況) 納車(既存バスの処分)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 更新計画策定、新規事業事前評価、更新方法の検討、補正予算計上、バス購入及び既存バス処分資料収集事務、発注、契約、予算の繰越事務 【リースによる導入(一般財源)から国の緊急経済対策交付金を活用した購入へ変更】・5年間リースの場合(試算) 662,000円×12ヶ月=7,944,000円 7,944,000円×5年=39,720,000円 参考:車両価格約35,000千円 ⇒●購入の場合 車種、グレード等検討後22,000千円補正予算計上		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
合志小学校校区の遠隔地児童及び市内児童生徒	ア:遠隔地の児童生徒数 イ:市内の児童生徒数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
安心・安全・確実に通学でき、学校行事での移送ができる。	ア:更新されたバスの台数 イ:	台
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
各交通機関で円滑に移動できる	ア:バスを使って円滑に移動できていると答えた市民の割合 イ:	%

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画		
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	20	21	年度
事業内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円			0	0	17,000			総 ト ー タ ル コ ス ト	(期間 限定 複 数 年 度 の み 記 載)	17,000
		千円			0	0	0					
		千円			0	0	0					
		千円			0	0	2,000					
		千円			0	0	0					
		千円			0	0	0					
		千円			0	0	0					
(A) 事業費計	千円		0	0	0	19,000	0	0	2,000	19,000		
人件費	うち指定経費 うち時間外、特殊勤務手当	千円			0	0	0					
		千円			0	0	0					
		千円			0	0	0					
正規職員従事人数	人			0	3	3				5		
延べ業務時間	時間			0	80	80				140		
(B) 人件費計	千円		0	0	318	318	0	0		557		
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	0	318	19,318	0	0		19,557	
活動指標	千円			0	19000	19000				目 標 数 値 画	22 年 度	63.2
対象指標	人			0	104	104						
成果指標	台			0	5172	5172						
上位成果指標	%			0	0	63.2						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
合併前、合志小学校の統廃合により、昭和44年から遠隔地児童生徒を対象に運行してきたスクールバスについて、平成6年の更新(導入)以来使用してきたバスの耐用年数が過ぎ、老朽化がすすんでいるため、平成20年度国の緊急経済対策を活用して購入による更新を行うこととなった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
スクールバスを利用する児童が減少傾向にある。 H21年度100人←H16年度141人

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし

事務事業名	スクールバス購入事業	所属部	教育委員会教育部	所属課	学校教育課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 合志小学校区の遠隔地児童が安心・安全・確実に通学でき、市内児童生徒の学校行事での移送ができることで、上位の各交通機関で円滑に移動できるに結び付く。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 義務教育の充実のため、通学及び学校行事の移送に活用するための購入事業であり、公共の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象の合志小学校区の遠隔地児童及び市内児童生徒が、意図の安心・安全・確実に通学でき、学校行事での移送ができることは現状で妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 旧来のバスが更新されることで、故障率の出現が低くなり、また、排ガスのクリーンさ、燃費の向上が見込まれ、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 発注(契約)を終えており、廃止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) 循環バス試行運行事業との連携可能性 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 路線バスとして運行補助を行っている市内循環バス路線のうち、児童通学に力点を置いた運行路線があり、連携が考えられるが、現時点での統廃合・連携は困難であり、今後検討が必要である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 発注段階で検討を重ね、購入契約を締結しており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ バス購入及び更新に係る人員は、最少の必要人員ですすめており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 合志小学校区の遠隔地児童が主に使用するが、学校行事での市内児童生徒の移送にもフル回転で活用されており公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>②有効性について、平成20年度補正予算で計上し発注したバスが平成21年度に納車され、旧来のバスが更新されることで、障率の出現が低くなり、また、排ガスのクリーンさ、燃費の向上が見込まれ、向上の余地がある。循環バス試行運行事業との連携可能性については、児童通学に力点を置いた運行路線があり、連携が考えられるが、現時点での統廃合・連携は困難であり、今後検討が必要である。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 発注したバスの更新を適正に行い、早期の活用が図れるよう取り組む。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
市内循環バス路線のうち、児童通学に力点を置いた運行路線があり、連携が考えられるが、現時点での統廃合・連携は困難であり、今後検討が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )